

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: ハクリパワーSD300

製品番号 (SDS NO): 13514001-1

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 株式会社シモダ

住所: 東京都江東区森下3-8-11

担当部署: 本社営業部

電話番号: 03-3632-1681

FAX: 03-3632-4696

緊急連絡先電話: 03-3632-1681

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(吸入): 区分 4

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

発がん性: 区分 1B

生殖毒性: 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

吸入すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
保護手袋を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

特別な処置が必要である。
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
ジクロロメタン	80-90	75-09-2	2-36
メタノール	10-20	67-56-1	2-201
パラフィン	1-5	8002-74-2	8-414;8-430
ジシクロヘキシルアミン	1-5	101-83-7	3-2259; 3-2686

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

消火を行う者への勧告

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避データなし

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

(ジクロロメタン)

日本産衛学会(1999) 50ppm; 170mg/m³; (最大許容濃度) 100ppm; 347mg/m³ (皮)

(メタノール)

日本産衛学会(1963) 200ppm; 260mg/m³

(ジクロロメタン)

ACGIH(1999) TWA: 50ppm (一酸化炭素ヘモグロビン血症; 中枢神経系障害)

(メタノール)

ACGIH(2009) TWA: 200ppm;

STEL: 250ppm (頭痛; 眼損傷; めまい; 吐き気)

(パラフィン)

ACGIH(1987) TWA: 2mg/m³ (上気道刺激; 吐気)

特記事項

(メタノール)

皮膚吸収

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

顔面保護具を着用する。

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 粘稠液体

色 : 青色

臭いデータなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点 : $\geq 39.7^{\circ}\text{C}$

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点 : 不燃性 $^{\circ}\text{C}$

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度 : 不溶

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度 : (参考値) 1.2221 (20°C)

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件
避けるべき条件データなし
混触危険物質
混触危険物質データなし
危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

rat LD50=2280mg/kg(male), 2120mg/kg(male) (EHC 164, 1996)

(メタノール)

human LD50=ca. 1400mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(ジシクロヘキシルアミン)

rat LD50=200mg/kg (IUCLID, 2000)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

rabbit LD50=15800mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(ジシクロヘキシルアミン)

rabbit LD50=316mg/kg (PATTY 5th, 2001)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

vapor:rat LC50=18371ppm/4hr(雄, 換算値) (EHC 164, 1996; NITE初期リスク評価書, 2005); <飽和蒸気圧濃度 (574109ppm (25°C))の90%

(メタノール)

vapor:rat LC50>31500ppm/4hr (DFGOT vol.16, 2001)

(ジシクロヘキシルアミン)

mist: rat LC50=2.1mg/L/4hr (IUCLID, 2000)

労働基準法: 疾病化学物質

ジクロロメタン; メタノール

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

ラビット 強度又は中等度の刺激性 (DFGOT vol. 1, 2016, Access on May 2017; NITE初期リスク評価書, 2005)

(ジシクロヘキシルアミン)

ラビット 腐食性 (HSDB, 2003 et al)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

ラビット 軽度から中等度の炎症, 中等度の刺激性 (いずれもDFGOT vol. 1, 2016, Access on May 2017)

(メタノール)

ラビット 区分2:Draize test (EHC 196, 1997)

(パラフィン)

ラビット Draize test: 軽度の刺激性 (IUCLID, 2000 et al)

(ジシクロヘキシルアミン)

皮膚腐食性

呼吸器感受性又は皮膚感受性データなし

生殖細胞変異原性

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

(ジクロロメタン)

発がん性

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

cat.1B; IARC Gr.2A (IARC 110, 2016); NTP R (NTP RoC, 14th, 2016); EPA L (IRIS, 2011)

[IARC]

(ジクロロメタン)

Group 2A : ヒトに対しておそらく発がん性がある

[ACGIH]

(ジクロロメタン)

A3(1999) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

[日本産衛学会]

(ジクロロメタン)

第2群A:ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

[EU]

(ジクロロメタン)

Category 2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

労働基準法 : がん原性化学物質

ジクロロメタン; パラフィン

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

cat. 2; ヒト 産衛学会許容濃度の提案理由書, 2005; SIAP, 2011; NITE初期リスク評価書, 2005;

DFGOT vol. 1, 2016, Access on May 2017; ACGIH 7th, 2015; 環境省リスク評価第3巻, 2004

(メタノール)

cat. 1B; mouse : PATTY 5th, 2001

(ジシクロヘキシルアミン)

cat. 2; 厚労省既存化学物質毒性DB, 2008

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

中枢神経系、呼吸器 (NITE初期リスク評価書, 2005; EHC 164, 1996)

(メタノール)

中枢神経系、視覚器、全身毒性 (DFGOT vol.16, 2001)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(パラフィン)

気道刺激性 (PATTY 5th, 2001)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

麻酔作用 (NITE初期リスク評価書, 2005; EHC 164, 1996)

(メタノール)

麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

生殖器(男性)、肝臓、中枢神経系 (NITE初期リスク評価書, 2005; EHC 164, 1996; 環境省リスク評価第3巻, 2004; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 1999)

(メタノール)

中枢神経系、視覚器 (ACGIH 7th, 2001)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(ジシクロヘキシルアミン)

神経系 (厚労省報告, 2008)

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=27mg/L/48hr (Canada PSAR, 1993; OECD SIDS, 2011)

(メタノール)

甲殻類(ブラインシュリンプ) LC50=900.73mg/L/24hr (EHC196, 1998)

(ジシクロヘキシルアミン)

甲殻類(オオミジンコ) EC50(遊泳阻害)=8.0mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2018 et al.)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(ジシクロヘキシルアミン)

甲殻類(オオミジンコ) NOEC(繁殖阻害)=0.016mg/L/21days (OECD SIDS, 2006)

水溶解度

(ジクロロメタン)

1.3 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2017)

(メタノール)

100 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2009)

(パラフィン)

溶けない (ICSC, 2003)

(ジシクロヘキシルアミン)

0.08 g/100 ml (25°C) (ICSC, 1999)

残留性・分解性

(ジクロロメタン)

急速分解性なし (BODによる平均分解度: 13% (化審法DB, 1986))

(ジシクロヘキシルアミン)

急速分解性あり (BODによる分解度: 76.9% (化審法DB: 1976))

生体蓄積性

(ジクロロメタン)

log Pow=1.25 (ICSC, 2017); BCF=40 (Check & Review, Japan)

(メタノール)

log Pow=-0.82/-0.66 (ICSC, 2000)

(ジシクロヘキシルアミン)

log Kow=4.4 (PHYSPROP DB, 2008)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄物は、許可を受けた、産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 2810

正式輸送名 :

その他の毒物、液体、有機物、N.O.S.

分類または区分 : 6.1

容器等級 : III

指針番号: 153

特別規定番号 : 223; 274

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

ジクロロメタン; メタノール

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

毒物類 毒物 分類6 区分6.1

航空法

毒物類 毒物 分類6 区分6.1

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

該当しない

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

ジクロロメタン

有機則 第2種有機溶剤等

メタノール

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

ジクロロメタン; メタノール; パラフィン

名称通知危険/有害物

ジクロロメタン; メタノール; パラフィン
健康障害防止指針公表物質(法第28条第3項)
ジクロロメタン
化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)
第1種指定化学物質
ジクロロメタン(85%)(1-186)
ジシクロヘキシルアミン(1.5%)(1-188)
化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)
第1種指定化学物質
ジクロロメタン(85%)(管理番号186)
ジシクロヘキシルアミン(1.5%)(管理番号188)
消防法に該当しない。
大気汚染防止法
有害大気汚染物質/優先取組
ジクロロメタン
特定物質 政令第10条第1号から第28号
メタノール
廃棄物処理法
特別管理産業廃棄物: 特定有害産業廃棄物
ジクロロメタン
土壌汚染対策法
第一種特定有害物質 揮発性有機化合物
ジクロロメタン
水質汚濁防止法
有害物質
ジクロロメタン

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7253 : 2019
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手配を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。